

六一

入

五寸

六

多浦寸太終卷才六

目錄

片置<sup>しやうしやう</sup>至<sup>し</sup>之<sup>の</sup>亮<sup>りやう</sup>歎<sup>かな</sup>打<sup>うち</sup>之事<sup>のじ</sup>  
在<sup>あ</sup>江<sup>え</sup>幸<sup>しあは</sup>高<sup>かう</sup>冥<sup>めい</sup>婚<sup>こん</sup>乃<sup>すなは</sup>恠<sup>を</sup>  
堀<sup>ほり</sup>江<sup>え</sup>七<sup>しち</sup>逢<sup>あ</sup>狐<sup>こ</sup>妖<sup>よう</sup>情<sup>じやう</sup>乃<sup>すなは</sup>  
仍<sup>い</sup>昨<sup>きのう</sup>僧<sup>そう</sup>活<sup>かつ</sup>亡<sup>わう</sup>靈<sup>りやう</sup>事<sup>じ</sup>



多浦寸太終

卷六

〇

子













[illegible]



多聞寸大蛇  
○五  
之  
力  
で  
男  
士  
を  
縛  
り  
込  
め  
て  
所  
乃  
紫  
の  
衣  
を  
着  
せ  
て  
以  
て



多聞寸大蛇  
卷六  
八  
の  
衣  
を  
着  
せ  
て  
以  
て











[illegible]

くりかへて聖霊はも向ふて首より仰て勢で射ま  
 れ首へつらつたれも入つて表は走つてある人の方へま  
 だ死もせず。お役ある中仰りて是まで行きてよんぞ。  
 いふやうにして、いふとえん又まうり引せつゝわく。ふふ  
 まうとて我己はほひひ忽死とふきあへぬ故もわひ  
 ぬ。大勢に我籠られぬらん。はまうとまうとくくの毛  
 走とていふ。なかとらて伏せし方分とて最後二人の  
 場をわさるに松の天とこ。おれに味りてゆひ  
 かに漸くこわく入はる。ふふあや。描のあし。ぬい  
 きりに遊かふ。ゆきすてありに嵐後と寛けり。研一  
 の薙法よりきつと叫ぶ。ふふとこわくふふふ。  
 してふふとわく。入はる。いひて押ひぬ。おれ。











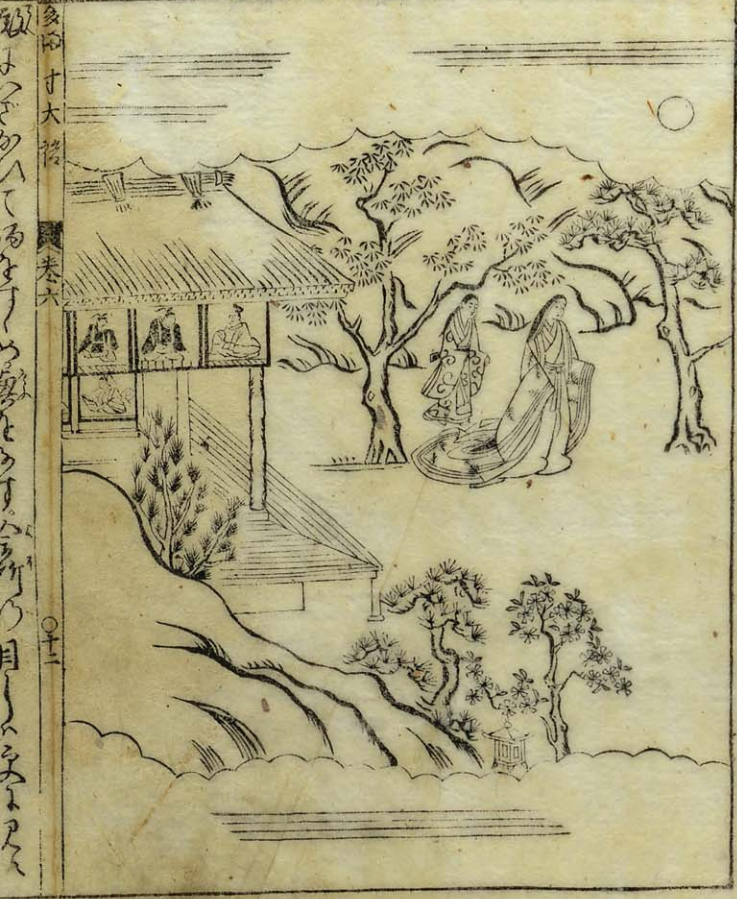








多聞寸太神  
 卷六  
 〇上  
 ねんきり  
 かり  
 ねんきり  
 せり  
 下  
 〇上  
 ねんきり  
 ねんきり



多聞寸太神  
 卷六  
 〇上  
 ねんきり  
 かり  
 ねんきり  
 せり  
 下  
 〇上  
 ねんきり  
 ねんきり



願はくはあへて活きしや、  
 唯々くわくわくかゝりて是よりして暖まりて  
 事かじり月日と送ゆ。政通用の心をもて  
 うら蓋てわたり。彼をよみてわがくう  
 りよりふひも、  
 武より、  
 人月わがくわれも、  
 して、  
 忠ひ、  
 と、  
 ねん、















聖訓川をわたりてあづまん河ありともんちやと河あり  
 事々々くさぐさ分ちと河ありにわたりて聖の道は  
 こゝから入るなりを指さうやいふをんと旅に世傳ふ  
 人かたわりの佛律とをのめしなほよくてなり年  
 らへ人々あはれむ世傳ふる像とききふなり下りて  
 多く梅檀の木をとりてけり切てそのを佛檀と達旦普  
 門品と讀誦し礼拝せむをいふなり十三日と行て  
 七さるゑ花の下りの無常しく切らば花の色憔悴  
 といふは貴僧をやあはれなりこそしそち花石は乃  
 花板乃間よりつゝの三文字中へ代りて入るなり  
 きよき中より遠くより父母をとりてあはれく  
 わたしありあはれなりや打ち叩く所を四五日と人々

了て終りしもの音に就て居るものもあつて  
 今も書もこれと書きよふとて或日二人のつらさ  
 なる文章を氣に存せしめておあり我々がそれと  
 なる非なる點を悉くして文を悉いてしるす事  
 とて儼然と一通の文章を下さ我々もきいて  
 まるゝ宛にやびやめてしるすことし亦し文と  
 して書通に教を下さす一日わがわがなりと  
 かくて再び我々もいふ後の條々ゆゑに數十重  
 なる山をあつて大なる屋敷に入るとり女僧ありて  
 うゝうゝうゝうゝうゝうゝうゝうゝうゝうゝ  
 中よりわがうゝとて我々もいふとて我々もいふ  
 なるも修業も終りぬとて我々もいふとて我々もいふ





多摩寸太依

卷六

十七

















里の<sup>か</sup>銀<sup>り</sup>を<sup>か</sup>細<sup>く</sup>も<sup>助</sup>け<sup>せ</sup>う<sup>の</sup>の<sup>り</sup>を<sup>の</sup>  
 く<sup>も</sup>の<sup>り</sup>を<sup>か</sup>細<sup>く</sup>も<sup>助</sup>け<sup>せ</sup>う<sup>の</sup>の<sup>り</sup>を<sup>の</sup>  
 ぬ<sup>も</sup>の<sup>り</sup>を<sup>か</sup>細<sup>く</sup>も<sup>助</sup>け<sup>せ</sup>う<sup>の</sup>の<sup>り</sup>を<sup>の</sup>  
 か<sup>や</sup>く<sup>も</sup>の<sup>り</sup>を<sup>か</sup>細<sup>く</sup>も<sup>助</sup>け<sup>せ</sup>う<sup>の</sup>の<sup>り</sup>を<sup>の</sup>